

早春賦

作詞 吉丸一昌
作曲 中田 章

一、
春は名のみ 風の寒さや。
谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず。
時にあらずと 声も立てず。

二、
氷解け去り 葦は角ぐむ。
さては時ぞと 思うあやにく
今日もきのうも 雪の空。
今日もきのうも 雪の空。

三、
春と聞かねば 知らでありしを。
聞けば急かる 胸の思いを
いかにせよとの この頃か。
いかにせよとの この頃か。

編曲 保坂奈月

The musical score is written for piano and voice. It features a treble and bass staff for the piano accompaniment, and a single staff for the vocal line. The key signature is D major (two sharps) and the time signature is 6/8. The score is divided into three systems, each corresponding to one of the three poems. The first system (measures 1-4) corresponds to the first poem. The second system (measures 5-8) corresponds to the second poem. The third system (measures 9-12) corresponds to the third poem. The lyrics are written in Japanese characters below the vocal line. The piano accompaniment includes chords and melodic lines in both hands. The score is marked with measure numbers 4, 8, and 12 at the beginning of each system. The lyrics are: 春は名のみ 風の寒さや。谷の鶯 歌は思えど 時にあらずと 声も立てず。時にあらずと 声も立てず。 氷解け去り 葦は角ぐむ。さては時ぞと 思うあやにく 今日もきのうも 雪の空。今日もきのうも 雪の空。 春と聞かねば 知らでありしを。聞けば急かる 胸の思いを いかにせよとの この頃か。いかにせよとの この頃か。

早春賦

12

どく — と きうにあきらのず — と こ え も た — て
を — き い か に せ の う も こ き の そ — ろ
D A D/A A7 A7

16

ず — と きうにあきらのず — と こ え — も た — て
ら — き い か に せ の う も こ き — の そ — ろ
か — い か に せ の う の こ の — そ — ろ
D D G D A

20

1,2 3.

ず — こ か —
ら — は —

1,2 D 3. D